

県立三島病院の存続、今なら間に合います。

四国中央病院へ移譲、契約前の協議中です。

2月県議会に向けて「第二次署名」を集めています。

愛媛県は、すでに県立三島病院の廃止が決まったかのように民間移譲を進めていますが、現段階は3月の正式契約に向けて四国中央病院と協議を進めているところです。

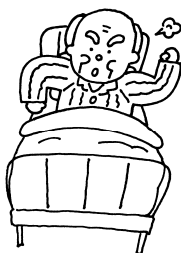
しかし、協議状況は民間移譲の絶対条件だった「**県立三島病院が担ってきた救急機能の確保**」すら守れないばかりか、四国中央病院側ではトップダウンによる県立三島病院の押し付けの実態が浮かび上がっています。

四国中央病院における三島病院の移譲構想は、①あくまで分院として「**三島医療センター**」とする。入院病床は内科のみとする。②二次救急の医療機能は、四国中央病院に集約して実施する。(医師の確保人数しだいではあるが、内科だけでは対応できない) ③『**将来**』は三島病院敷地に350床規模の中核病院を建設するとする構想を発表しています。(今後、移譲構想変更もありとのこと) しかし、四国中央病院側は、「**将来の時期はわからない**、東京の(公立学校共済組合)本部に聞いてくれ。医師確保は県に10名を要請している」とのこと。むしろ、四国中央病院側は、「三島病院に回す医師は一人もいない」と言い切り、救急医療の医師確保や病院経営において、三島病院と「共倒れ」となることを一番警戒している実情が見えてきました。

愛媛県は、こんな無責任な民間移譲計画をいさぎよく打ち切り、白紙に戻すのが当たり前の手続きと考えます。

そのためにも、**愛媛県と「2月県議会」**に向けた**第二次署名**が重要となります。第二次署名は、**四国中央市の救急指定4病院の「共倒れ」**が心配される中、**県が三島病院での救急医療を確保すべきことを中心にすえた内容**となっています。

第二次署名のご協力をお願いします。身近な人へも署名をお勧めください。



締め切りは、1月末です。お願いします。

2009年12月 発行①

県立三島病院を守る会 〒799-0431 四国中央市寒川町 2912-1
生協宇摩診療所内 TEL0896-25 -0114